

8. 平成25年度第5回総合計画推進部会(第2部会)協議記録

(1) 第4回協議記録

- 日 時：平成25年12月24日(火曜日)午前10時から午前11時50分
- 場 所：市役所本庁舎4階 第3会議室
- 出席委員：倉知朋範(健康課・部会長)、伊東あゆみ(健康課)、菅野英子(高齢福祉課)
- 欠席委員：西尾茂(生涯学習課・副部会長)、岡田優子(市民協働課)、
高柳秀史(道路建設課)
- 説明員：伊東敏樹(道路建設課)、水谷寛樹(道路建設課)、
(株)国際開発コンサルタンツ 森下
- 事務局：柏木晶(企画政策課)、横井健(企画政策課)

●内容

- ◇議題 岩崎川堤防道路整備事業について
 - ・岩崎川堤防道路基本構想策定に対する意見について

説明員：資料に沿って説明。アンケート調査は、インターネットによる回答が3名、道路建設課窓口による回答が数名、ほとんどは野方、本郷、岩藤、北新、五色園、岩崎、藤島の自治会を通じて配布・回収したものである。また、平成25年11月27日に野方、本郷、岩藤、北新、五色園の方々12名、11月28日に岩崎の方々14名と意見交換会を行った。次回は、平成26年1月20日に行う予定である。

委員：ウォーキングしている人に公共施設のトイレを使ってもらうのはよいが、時間外は施錠しているため利用できない。そのことをウォーキングマップ等に記載してはどうか。

事務局：アンケートで、ニッシーそよ風ロードのポケットパークの利用について、利用していないという回答が83.1%を占めているがどういうことか。

説明員：アンケート回答者が岩崎川堤防道路周辺の地元の方々がほとんどであるため、地理的にニッシーそよ風ロードのポケットパークはほとんど利用していないと思われる。ちなみに、天白川堤防道路を利用していないという回答が49.4%を占めていることから推察できる。

委員：歩行者や自転車走行者のためにもカラー舗装はよい。

委員：車が走行するのを制限できないか。

説明員：車両通行禁止にするには、警察との協議が必要となる。地元の方が不便になって反発があるかもしれないので難しいと思われるが検討はできる。

委員：東海市などでは歩道にテーマを設けて、例えばケンケンパや歩幅チェックができるように路面に塗装したりしている。

説明員：歩行者専用道とするのは難しいが、例えば堤防道路の余剰地にそういう塗装をすることも考えられる。

- 委員：健康課のヘルピーウォーキングマップには、天白川堤防道路はウォーキングコースとして記載されていない。車も通行できるとなると、歩行者等の安全面が問題である。
- 委員：生涯学習課のにっしんにここウォーク&スポーツ祭りの際に、天白川や岩崎川の堤防道路をウォーキングしている。
- 事務局：川沿いは暗いので照明があるとよいと思うがどうか。
- 説明員：堤防道路で通学路となっているところなどは、照明設置の要望がある。
- 事務局：子どもが遊べる場として、ポケットパークごとにアスレチックを設置してはどうか。川沿いに公園をつくり、堤防道路とつなげるのもよいと思う。
- 説明員：現状は年2回の草刈りをやっているが、維持管理が大変であり、行政だけでなく市民の方々の協力が必要である。
- 委員：老人クラブ川の会などの河川愛護団体をエリアごとにつくり、草刈りなどに協力してもらえるとよい。
- 事務局：名古屋瀬戸道路の日進インターチェンジが当初の計画より手前で側道に接続する予定である。そこから白山の交差点まで数年のうちに側道ができる予定であり、岩崎川をまたぐことになるが堤防道路はどうなるのか。
- 説明員：堤防道路が先か、側道が先かということになるが、いずれにしても橋梁ができるので、そこをウォーキングしていただくことになると思われる。
- 説明員：ウォーキングする人へトイレを貸してもらえるようにコンビニに協力してもらい、そのコンビニを宣伝も兼ねてウォーキングマップに掲載することも考えられる。
- 委員 第4部会で市役所周辺整備について商工会青年部と意見交換をした際に、天白川沿いを魅力あるものにして、子どもと一緒に歩いたりサイクリングしたり、釣りができるなど、子どもが楽しめるようにできるとよいという意見があった。子どもと関連した事業ができるとよいと思う。
- 委員：子どもの親世代である30代から40代のメタボ対策は重要である。
- 委員：老人クラブに堤防道路の維持管理に協力してもらうため、計画段階で意見を聞くなど係わってもらうのもよいと思う。
- 委員：天白川堤防道路を盛り上げ、次に岩崎川堤防道路も盛り上げるという流れがあるとよいと思う。
- 事務局：ポケットパークを広めにとって、そこで地産地消の一環として産直市場をやってみてもよいと思う。食育にもつながる。既存事業をそこで実施することも考えられる。
- 委員：部会で協議することもよいが、その他にも関係する課があると思う。関係する課から意見等を聞くのか。
- 説明員：現在は基本構想の策定段階であるが、今後、基本計画の策定や詳細設計に入っていくので、必要に応じて関係する課の意見等を聞いていく予定である。関係する課には協力をお願いしていく。
- 委員：ヘルピーウォーキングマップを作成する際に、日進ウォーカーズに協力していただいた。岩崎川堤防道路についても協力してもらってはどうか。

説明員：次回の地元の方々との意見交換会が平成26年1月20日にあるが、それまでに日進ウォークの意見を反映させるというのは時間的に厳しいが、意見を聞くことはよいと思う。

部会長：都合がつけば、次回の部会を平成26年1月か2月ごろに開催し、日進ウォークにもご出席いただいて意見をいただくことにする。また、各委員は課内で意見等があれば集約をしていただき、事務局までメールで送付することにする。その意見等を事務局がとりまとめ、道路建設課に送付する。

・その他

事務局：平成24年度に総合計画推進本部会議に第2部会から提出した重点プロジェクト推進事業について、平成25年度の進捗状況等の報告を平成26年3月に開催する本部会議において部会長から報告していただく予定にしている。報告様式については改めて連絡させていただくので、事業の担当課は記入等よろしく願います。

(2) 第5回協議記録

- 日 時：平成26年2月3日（月曜日）午前10時から午前11時30分
- 場 所：日進市役所本庁舎2階 会議室
- 出席委員：倉知朋範（健康課・部会長）、西尾茂（生涯学習課・副部会長）、伊東あゆみ（健康課）、菅野英子（高齢福祉課）、高柳秀史（道路建設課）
- 欠席委員：岡田優子（市民協働課）
- 説明員：伊東敏樹（道路建設課）、水谷寛樹（道路建設課）、（株）国際開発コンサルタント 森下
- 事務局：柏木晶（企画政策課）、横井健（企画政策課）
- 市民団体：日進ウォークーズ3名、木曜会（日進市運動普及推進員）3名

●内容

◇議題 岩崎川堤防道路整備事業について

- ・岩崎川堤防道路基本構想策定に対する意見について

説明員：資料に沿って説明。平成26年1月20日に第1回目と同様に第2回目の地元住民向けの意見交換会を実施した。

市民団体：ウォーキングだけでなく、ピクニック、散策や散歩という気軽に楽しめる概念もあるとよい。30～40代の世代、子育て家庭に歩いてもらうことが大事である。天白川のポケットパークに子どもが座っているのを見たが、よいことだと思う。トイレは維持管理が大変なので、あまりつからない方がよい。

市民団体：近所の方がウォーキングするのであればトイレの心配をする必要はない。既存の施設のトイレがあればよい。

市民団体：四季折々の花木があると楽しみが広がる。天白川には彼岸花が植えてあるところがあり、きれいである。

市民団体：照明を設置するのであれば、自然と一体化した景観に配慮したものとしてほしい。

市民団体：歩くには木陰が必要である。ただし、落ち葉の問題もあるため、維持管理コストがあまりかからないよう考慮してほしい。

市民団体：近所の方が堤防道路を歩く場合には、家が近いのでトイレは不要である。みんなで集まって歩く場合には、市役所や北部福祉会館などに車を停めて行くので、トイレを考える必要がある。ウォーキングの方法によってコースのPR方法も変わる。

市民団体：ウォーキングする人は高齢者が多いので、コースの途中の見晴らしが良いところにイスを置いてほしい。また、それぞれに合った健康維持のためのウォーキングとして、2km、3km、6kmなどのコース設定があるとよい。高齢者や障害者に日常生活の中で活用してもらえるようにするとよい。

市民団体：木曜会では、4月初旬に市役所に集合し、保健センターのトイレを使い、岩崎橋を越えて、岩藤神明社のトイレを使い、総合運動公園までウォーキングしている。そこからくるりんばすで帰るが、元気な人はウォーキングして帰っている。

市民団体：桜の枝が歩行の邪魔になっている箇所がある。

説明員：地元が手入れ等の協力をしてきているが、必要な場合は土木管理課で対応することになると思われる。

市民団体：歩行者にわかるように堤防道路へラインを引いてほしい。

説明員：赤か緑などのカラー舗装をする予定である。

説明員：市内・市外の方々に堤防道路を歩いてもらえるとよいが、まずは近所の方に使ってもらえるとよい。また、コンビニのトイレが使えるようにマップに掲載することも考えられる。

市民団体：妙仙寺の臥龍の松、北高上緑地が近くにある。これらの観光資源をウォーキングコースに入れて活用してほしい。

説明員：子どもにとっては公園や遊具等の情報、歴史好きな人には名所旧跡等の情報を取り入れるなど、いろいろな目的で楽しめるといいと考えている。

委員：健康課では小学校区ごとにウォーキングコースを設定した。安全性や現状を考慮してウォーキングマップを作成したものである。

説明員：どのように歩くことを楽しんでいるのか。

市民団体：話ながらウォーキングするなど、人とのつながりが大切である。日進ウォーカーズでは、平成13年から月1回程度のウォーキングをしている。初めは市内で実施していたが、市内は当たり前で魅力が少ないので市外へ行くようになった。

市民団体：木曜会では毎週、牧野ヶ池緑地、愛知牧場から愛知池、赤池駅から平針の農業センターの3コースを同時に歩いている。また、年に何回かは全体と一緒に歩いている。きれいな庭を見たり、花を見たりして日々の四季の変化を感じて楽しんでいる。

市民団体：いつもウォーキングする人はパターンが決まっている人も多く、同じ時間帯に歩いているので道で会ってコミュニケーションをとっている。若い人は少ないが、土日に犬や子どもを連れている人はいる。

説明員：ウォーキングによる健康事業として、保健センターを活用できるとよいと思う。

市民団体：30代から40代の人に歩いてもらうには、子どもと一緒に歩けるように工夫する必要がある。

市民団体：川にはカワセミ、サギや亀などもいる。身近に子どもが自然から学べる場がある。

市民団体：自分が子どものころは、長靴を履いてバケツを持って天白川へ行く授業があったが今はない。

市民団体：ウォーキングするときは、車対策として笛を持ち歩いている。やはり、土日ぐらいは近隣住民以外、堤防道路の車両通行規制をしてはどうか。速度制限や道路に凹凸をつけてもよい。

説明員：交通規制は公安委員会の所管であるが、通行規制をすると宅配業者等が入れないとか、道路に凹凸をつけるとかえって危ない場合などが考えられる。そこで、物理的な車両対策より視覚的な対策をしてはどうかと考えている。

市民団体：歩道の設置はできないか。

説明員：歩道の設置には、道路幅員が必要となるため難しい。道路をカラー舗装することで、車のスピードを落としてもらうようにすることも考えられる。

説明員：本日いただいた意見は参考にさせていただく。本年度は基本構想を策定し、平成26年度は基本計画を策定する予定である。

- ・その他
特になし。

10. 基本構想

(1) 基本構想

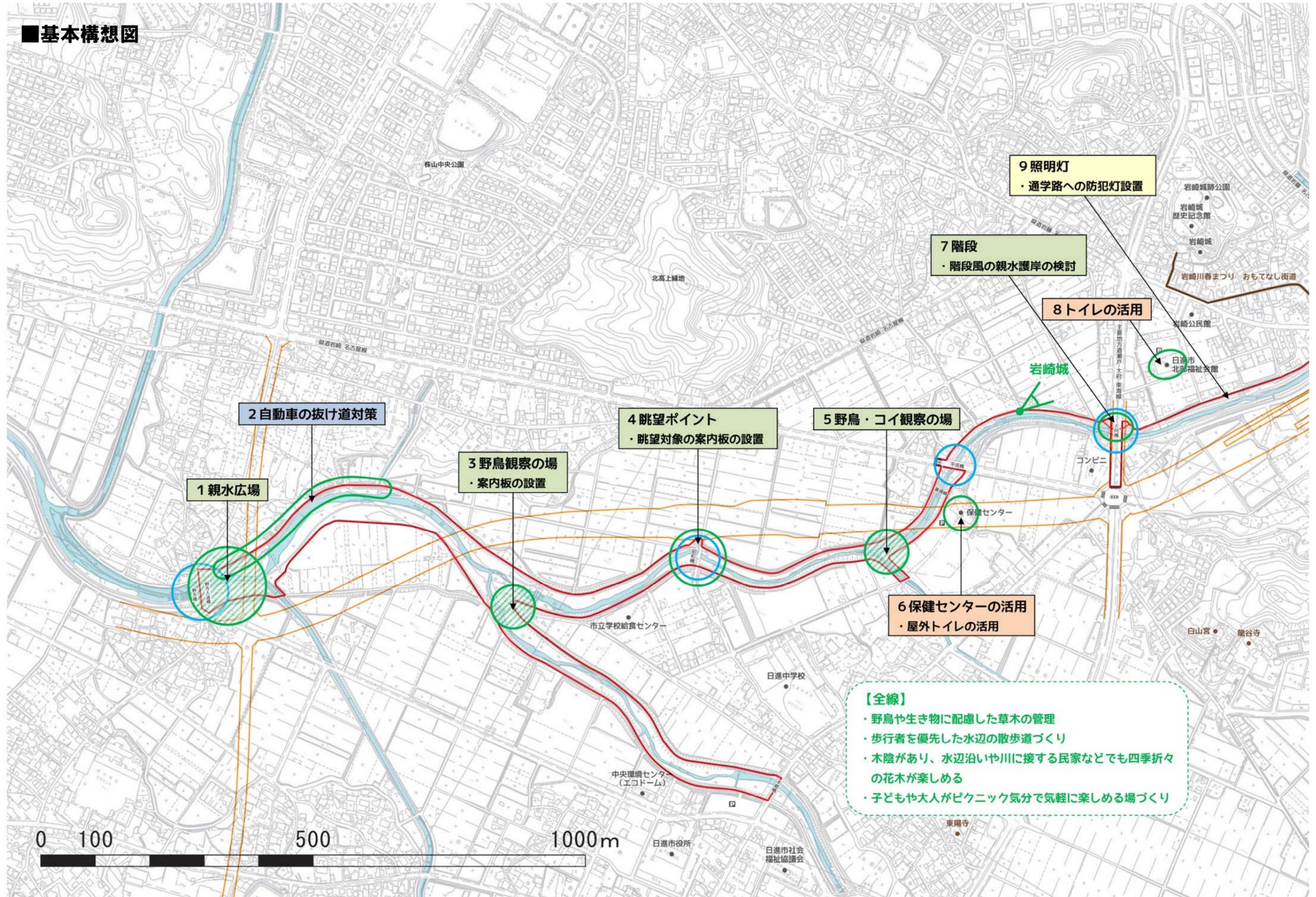
市民アンケート、意見交換会、平成25年度総合計画推進部会（第2部会）等の意見を基に、基本構想を以下に整理した。

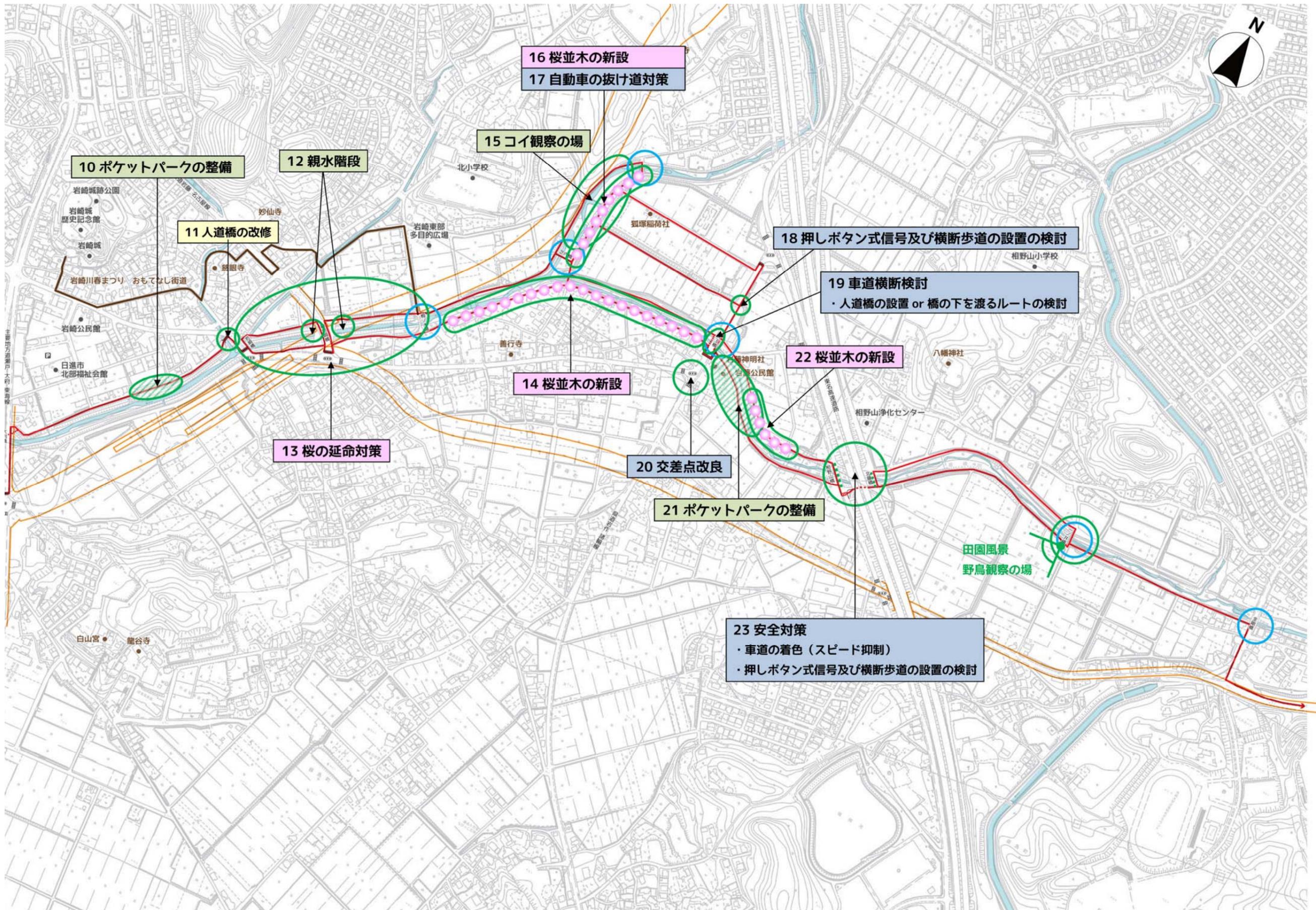
分類	番号	名称等	基本的考え方等
広場・ 眺望ポイント	1	親水広場	既存の高水敷部分を活用した安心して水に親しめる広場の整備を目指す。
	3	野鳥観察の場 ・案内板の設置	天白川との合流部分でもあり、野鳥も多くみられるため、野鳥観察の場づくりを目指し、案内板等の設置を検討する。
	4	眺望ポイント ・眺望対象の案内板の設置	昭和橋からは北に北高上緑地、西に白山宮、北東に岩崎城址などのまとまった緑が眺められる視点場づくりを目指し、これらを紹介する案内板等の設置を検討する。
	5	野鳥・コイ観察の場	南東からの支川との合流部であり、野鳥やコイがみられるため、野鳥やコイ観察の場づくりを目指し、案内板等の設置を検討する。
	7	階段 ・階段風の親水護岸の検討	大向橋周辺で水辺に近づき、水に親しむ親水階段の整備を目指す。
	10	ポケットパークの整備	北西の堤防の桜が眺められる高水敷に、ポケットパークの整備を目指す。
	12	親水階段	新岩崎橋の上下流部で、水に親しめる親水階段の整備を目指す。ただし、日進中央線の整備と調整を図る。
	15	コイ観察の場	北側からの支川の合流部であり、コイが生育していることから、コイが観察しやすいように整備を目指す。
	21	ポケットパークの整備	人が集まる岩藤神明社及び岩藤公民館周辺に、ポケットパークの整備を目指す。
サクラ	13	桜の延命対策	岩崎橋から梅ノ木橋にかけての桜並木は貴重であり、延命化を目指す。ただし、日進中央線の整備と調整を図る。
	14	桜並木の新設	堤防道路の魅力づけと岩崎橋付近の桜の延命対策のひとつとして、新しい桜並木空間の創出を目指す。
	16		
	22		

分類	番号	名称等	基本的考え方等
交通	2	自動車の抜け道対策	野方橋上流の右岸側堤防道路は北側からの自動車の抜け道となっており、抜け道対策を図り、歩行者の安全確保を目指す。
	17		狐塚稲荷社の西側道路は現在自動車の抜け道となっており、抜け道対策を図り、歩行者の安全確保を目指す。
	18	押しボタン式信号及び横断歩道の設置の検討	現在の横断歩道橋では自転車やベビーカーが利用できず、また、高齢者も利用しづらいため、横断対策や交差点の改良などにより天王橋の安全な横断を目指す。
	19	車道横断検討 ・人道橋の設置 or 橋の下を渡るルート of 検討	
	20	交差点改良	
	23	安全対策 ・車道の着色（スピード抑制） ・押しボタン式信号及び横断歩道の設置の検討	東名高速道路との交差部は横断歩道や信号がなく、自動車の走行速度も速いことから、歩行者の安全な横断を目指す。
安心・安全	9	照明灯 ・通学路への防犯灯設置	川沿いの通学路については、安全に通学できることを目指し、防犯灯の設置を検討する。
	11	人道橋の改修	菊水川にかかる人道橋については幅が狭いことから、安全に通行できることを目指し、改修もしくは架け替えを検討する。
施設	6	保健センターの活用 ・屋外トイレの活用	健康づくりメニューの一環として岩崎川堤防道路のウォーキングを組み込むことを目指す。また、敷地内（屋外）に堤防道路を散策する人も活用できるトイレの設置を検討する。
	8	トイレの活用	既存公共施設等のトイレの活用を目指し、日進市北部福祉会館などのトイレを岩崎川堤防道路の利用者に開放することを検討する。

(2) 基本構想図

■基本構想図





10 ポケットパークの整備

12 親水階段

11 人道橋の改修

16 桜並木の新設
17 自動車の抜け道対策

15 コイ観察の場

18 押しボタン式信号及び横断歩道の設置の検討

19 車道横断検討
・人道橋の設置 or 橋の下を渡るルートを検討

13 桜の延命対策

14 桜並木の新設

22 桜並木の新設

20 交差点改良

21 ポケットパークの整備

田園風景
野鳥観察の場

23 安全対策
・車道の着色（スピード抑制）
・押しボタン式信号及び横断歩道の設置の検討